

10月3日(月)~23日(日)

よどがわ市民生協のタイ産バナナ物語! コープきんきのTVCMにて放映!



【安全・安心の産直登録バナナ!】

「安全・安心なおいしいバナナがほしい!」そんな、組合員の声から始まった産直登録バナナは、来年で30周年を迎えます。

栽培時無農薬のバナナをつくるため、タイの生産者と協力し、何度も話し合い、試行錯誤を重ねてきました。その「つながり」は、今も続いています。

豊かな香りとさっぱりした甘みが特徴のバナナです。



届けたいのは、持続可能な明日です。



よどがわくらしの助け合いの会 125

『ほのぼの』は、「こまった時はお互いさま」という気持ちを大切に、思いやりと感謝の心で支えられた組合員どうしの助け合いの活動をしています。



だより

コーディネーター募集!

資格不要

コーディネーター

あなたの空いている時間を
役立ててみませんか?

利用会員と活動会員との
マッチングや調整を行います。

活動経験のあるなしにかかわらず
興味のある組合員さん、内容の詳細
はお気軽にお問い合わせください。

※コーディネート件数に応じて、既定
の活動費・交通費をお支払いします。



活動会員

利用会員

お申込み・お問い合わせ

『ほのぼの』事務局(組織部) ☎06-6319-5619 (月~金 9~17時)

第2次受付ウクライナ支援 募金報告 (9月16日現在)

この募金は、国際連合世界食糧
計画WFP協会(国連WFP協会)
を通じて現地に届けられ、現地の
食糧支援として使用されます。

【実施期間】

7月1回~11月1回
347万1,300円

募金
方法

注文書の募金
カンパ欄「1417」に
個数(100円単位)を
記入してください。
また、インターネット
注文「eフレンズ」
でも募金できます。

ご協力
ありがとうございます



※この募金は所得税の寄付金
控除の対象となりません。

今後もご協力をよろしく
お願いいたします。

よどまるレポ-ト

003 協同組合原則について

7原則

- ①自発的で開かれた組合員制
- ②組合員による民主的管理
- ③組合員の経済的参加
- ④自治と自立
- ⑤教育・研修・広報
- ⑥協同組合間協働
- ⑦コミュニティへの関与

機関紙よどがわ8月号に登場した「ロッヂデ-ル公正開拓者組合」※は、自分たちの店を作り、運営していくために「正しい品質であること」「組合員は平等であること」「教育を重視すること」などのルールが決められました。これらは多くの協同組合に広がり、のちにICA(国際協同組合同盟)によって7つの協同組合原則としてまとめられました。

※名前は「世の中に公正さを広めていく」という意味です。

なかでも「教育の重視」はロッヂデ-ル公正開拓者組合でも最初から掲げられ、狭く商品も少ない店舗にも、図書室が作られ、新聞も読めるようになっていました。これは資本主義や工業生産の急速な発展で、社会的弱者とされた消費者の地位の改善には消費者自身の教育が大切だと考えたからです。

今でも生協法では、毎年事業年度の剰余金の5%以上を、翌年度の教育事業などのために繰り越すことを定めています。

地域とともに

今回来...

よどがわ市民生協が食材提供をしている団体紹介

団体名:【淡路子ども食堂】

住所 大阪市東淀川区淡路5-10-7NOVAビル1F

連絡先 06-6320-7036
nova-jiyu-kukan@outlook.jp

HP <https://facebook.com/rikio.kageyama>

【住みよい淡路、東淀川、さらに、より広い地域のために!】



NPO法人から子ども食堂へ

2005年5月、10年弱のギャラリー活動を通して、「地域に根差した文化を咲かせたい!地域で楽しく過ごしたい!」をテーマに、NPO法人自由空間倶楽部を設立しました。地元淡路公園での「移動動物園」や、淡路文化祭、ジャズコンサート、落語会など、17年に渡り活動してきました。

2016年10月より、「淡路子ども食堂」をこどもの健康と、こどもの居場所・地域の居場所づくりと考え、現在6年、70回を迎えます。残念ながら、NPOは理事の高齢化から今年7月で終了しましたが、こども食堂は「淡路子ども食堂」として、現在も継続して実施しています。



コロナ禍での活動に苦心

今年2~4月は、コロナ禍で「お弁当」も作れず、「フードパントリー」で食材・野菜・お米の配布を行い、

濃厚接触者で買物に行けない家庭へも食料品の提供を行いました。6月第69回の参加者は、81世帯・大人98人・こども154人・サポーター9人でした。お米5kgを1世帯に1袋の配布と、こどもたちへ「ドライカレーのり弁当」90食の無料提供、おもちゃの配布を行いました。



今後もみんなと一緒に!!

今後、コロナの終息に向けて、みんなで食べる「こども食堂」の再開と同時に、食事場所を確保するため、「フードパントリー」とを分けて、月2回実施を検討しています。人的にも、量的にも2倍になりますが、今の経済状況では、フードパントリーで、皆さんの期待に応える重要性を感じます。

また、昔のように、みんなで一緒にワイワイ食べたいですね!ご支援よろしくお願いたします!